

別記一 郎船ニルム後 利元松山重役 龜割安花を膺懲也ト!!

龜割安花は大和サシエ株式会社の社長であるのだ、彼も自ら社長當時義勇の長谷川修一なるものを引張つて弟を支那人にしたのである。

奸智にあやかる長谷川は、社長の弟である為一際、権限を同いまいにちを三カ三ヶ年からの金を私腹して支那人の恥をあげたらしい、それらのつたのだ。今回、債銀不押首切りで我々従業員争議をやつていふ。

會社の理由は今日の不況と亀割、長谷川の不正を並べ、責任を逃れ、其の右會見しようともしてあげ

彼等奸あつたる正を我々従業員は朝敵を討つたまゝなの、我々は敢然起つ不徳、漢皇制と正義の斗争を開始した。

大和サシエ重役 龜割安花を懲り 日本労働組合連合会 大和サシエ争議団